さくら

SAKURA

学校法人ノースアジア大学 広報

NORTH ASIA UNIVERSITY

2014.1 January No. 236

CONTENTS

02 / 特集①「就職に強い」大学（ノースアジア大・看護大）
03 特集② 今、この部活動が熱い
（ノースアジア大：硬式野球部、高校：女子サッカー部）
04 / 入試日程
05 / ノースアジア大・看護大：オープンキャンパス
短大：移動公開講座
06 / サッカーで学園内交流、幼稚園：運動会、稲刈り
07 / 大学：NAT韓国研修旅行　高校：修学旅行
08 / インフォメーション
（秋田市土産品が完成、ドラフト育成枠で指名）

秋田市土産品商品発表会

特集1 「就職に強い」大学

5年連続で就職率100%

秋田看護福祉大学

学生一人ひとりの努力と少人数教育によるきめ細やかな指導の結果、秋田看護福祉大学の就職率は、開学以来5年連続で100%を達成しました。

就職における支援体制の特長は、大きく二点。「一人ひとり目の行き届いた、学生個々の目標や適性に合った進路支援」「1年次から始まる国家試験対策」です。

保健・医療や福祉の現場での経験が豊富で、専門的な知識を持つ教員が多数いるほか、さまざまな分野への就職をサポートする専門スタッフを配置し、少人数制の利点を最大限に生かした支援をしています。

また、1年次から計画的な国家試験対策に取り組むことで、高い合格実績を残しています。昨年3月に卒業した第5期生【看護学科】の国家試験受験結果は、看護師は合格率98.3%(全国の新卒平均合格率94.1%）、保健師・助産師はともに合格率100%（同 保健師97.5%、同 助産師98.9%）でした。【福祉学科】の受験結果は、社会福祉士が合格率38.7%(同 18.8%)、精神保健福祉士は72.7%（同56.9%）となりました。このうち、社会福祉士・精神保健福祉士、両方の合格者は7名でした。

講義や各種実習などを通して、現場で活躍できる専門的な知識を持った人材の育成を目指しています。

就職率が上昇 ノースアジア大学

経済学部 全国第2位　法学部 全国第7位

ノースアジア大学は、読売新聞社が発行している「就職に強い大学2014」の学部別ランキングにおいて、経済学部が2位、法学部が7位と、全国上位に位置付けられました。経済学部・法学部ともに、昨年度の同ランキングを上回る結果となりました。

ノースアジア大学では、卒業後の進路を、学生一人ひとりが考えて選択することができるように、入学直後から充実したキャリア教育体制を整えています。

また、2年生から4年生まで、各学年の時期に合わせた内容で「就職ガイダンス」「各種就職対策講座」を行い、就職活動開始前から内定獲得まで支援をしています。そのほか、キャリアセンターとゼミナール担当教員が連携して学生の支援にあたることで、状況に応じたきめ細やかな就職支援を実現しています。

さらに、毎年、学内で「合同企業説明会」「企業の採用試験・説明会」を実施しているほか、企業の採用担当者を講師に招いた講演会、セミナーも行っています。学生が企業と出会える機会を多く提供することで、企業やそれを取り巻く状況への関心・理解が深まるだけではなく、就職活動に対する意識の高揚へとつながっています。

1部昇格を目指して

ノースアジア大学　硬式野球部

ノースアジア大学硬式野球部は、躍進の一年でした。新入生を迎えての春季リーグ（3部）で優勝。続いて、2部への昇格を目指して挑んだ、岩手医科大学との入替戦で連勝し、秋季リーグより2部リーグで戦うことを決めました。

その勢いのまま、6月の新人戦で準優勝。大会の優秀新人選手賞には木村達哉さん（経済学部1年）が選ばれました。また、7月に福島県で行われた、第2回南北大学野球交流戦では優勝し、畠山慎平さん（経済学部1年）に最優秀選手賞が贈られました。2部昇格後に迎えた秋季リーグ。部員全員が一丸となって試合に臨み、勝ち星を増やし続けた結果、八戸工業大学（10勝）に次ぐ、同率2位（7勝3敗）の好成績を残し、今シーズンを終えました。

このほど、北東北大学野球連盟が秋季の個人賞・ベストナインを発表し、これまで主将としてチームの先頭に立ってがんばってきた佐藤康一さん（法学部4年）が外野手のベストナインに選出されました。

秋田県の高校野球で豊富な監督経験をもつ嶋崎久美氏が監督に就任して2年目。前進し続ける硬式野球部の今後の活躍にご期待ください。

【ノースアジア大学　硬式野球部】
●ホームページ
http://www.nau.ac.jp/campus/naubb/
●フェイスブック
http://www.facebook.com/naubbc

初の東北大会ベスト4　全国を目指して

明桜高等学校　女子サッカー部

明桜高校女子サッカー部は、10月25日から山形県天童市を会場にして行われた「全日本高等学校女子サッカー選手権大会東北地域大会」に出場し、初の東北大会ベスト4に入りました。

秋田県予選で優勝し、県代表として試合に臨んだ今大会。6月に対戦して負けたチームからも勝利を得たことで、日々の練習や公式戦などを通して選手たちが精神的・技術的に成長していることを証明しました。

準決勝、3位決定戦では宮城県の強豪校と対戦して敗れたものの、創部2年目にして、東北大会で2勝したことで、全国大会への出場が、また一歩近づきました。

【明桜高等学校　女子サッカー部】
●ホームページ
http://www.northasia.jp/MEIOH/lsc/

2014年度 入学試験日程
（一般・センター試験利用入試）

ノースアジア大学〔経済学部・法学部〕

一般入学試験

区分	募集人員(名) 経済	法律	観光	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	試験内容
B方式	7	3	2	3／3(月)～3／14(金)	3／20(木)	秋田・大館・横手・仙台	3／28(金)	国語総合（古文・漢文を除く）、英語Ⅰ・Ⅱ、小論文＜1科目選択＞

センター試験利用入学試験

区分	募集人員(名) 経済	法律	観光	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	試験内容
中期	5	5	2	2／10(月)～2／21(金)	平成26年度大学入試センター試験日	－	2／28(金)	国語（近代以降の文章）、外国語（英語[リスニングを除く]、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語）、地理歴史(世界史B、日本史B、地理B)、公民（現代社会、倫理、政治・経済）、数学（数学Ⅰ・数学A、工業数理基礎、簿記・会計、情報関係基礎）＜2科目選択＞
後期	5	5	2	3／10(月)～3／25(火)			3／28(金)	

※センター試験利用入学試験（中期・後期）は、本学独自の個別試験を行いません。

秋田看護福祉大学〔看護福祉学部〕

一般入学試験

区分	募集人員(名)		出願期間	試験日	試験地	合格発表日	試験内容
看護	後期	4	2／26(水)～3／7(金)	3／11(火)	大館	3／14(金)	①国語（国語総合、国語表現Ⅰ「近代以降の文章」）、英語（英語Ⅰ・英語Ⅱ）②数学Ⅰ・数学A、生物Ⅰ、化学Ⅰ＜1科目選択＞
福祉	後期	3					①国語（国語総合、国語表現Ⅰ「近代以降の文章」）、英語（英語Ⅰ・英語Ⅱ）②数学Ⅰ・数学A、生物Ⅰ、化学Ⅰ、日本史B、世界史B、政治・経済＜1科目選択＞

センター試験利用入学試験

区分	募集人員(名) 看護	福祉	出願期間	試験日	個別検査	個別検査科目	個別検査日	個別検査実施場所	合格発表日	試験内容
後期	3	3	2／26(水)～3／7(金)	平成26年度大学入試センター試験日	あり	面接	3／11(火)	大館	3／14(金)	※入試要項を参照のこと

秋田栄養短期大学〔栄養学科〕

一般入学試験

区分	募集人員(名)	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	試験内容
B方式	5	2／10(月)～2／21(金)	2／28(金)	秋田	3／7(金)	国語総合（古文・漢文を除く）、面接
C方式	5	2／24(月)～3／10(月)	3／17(月)		3／25(火)	小論文、面接

入学試験に関する詳細については下記までお問い合わせください。
［ノースアジア大学・秋田栄養短期大学］入試広報課　TEL 018-836-1342　E-mail nyushi@nau.ac.jp
［秋田看護福祉大学］学務課　TEL 0186-43-6510　E-mail wwwadm@well.ac.jp

オープンキャンパスを開催

ノースアジア大学

今年度はオープンキャンパスを3回行い、高校生、教員、保護者など、県内外から多くの方が参加しました。

各回ともに、オリエンテーションや入試説明の後、模擬授業や学科の取り組みを紹介。模擬授業では、毎回違ったテーマを設けて専門的な内容を分かりやすく説明しました。経済学科は、経済学の視点から進路選択を考える講義を行いました。法律学科は、「バーチャル捜査官入門」と題して、教員と学生が犯罪と法律との関わりを寸劇を通して伝えました。観光学科は、「ドッグツーリズム」をテーマに、ペットと一緒に旅行する際の場面を取り上げたほか、観光客を呼び込むための施策を考える体験型の授業も行いました。

そのほか、「模擬面接会」での面接試験の体験や、公務員を多数輩出している国家試験等センターの見学会を行うなど、各回とも充実した内容でした。

次回は、3月16日の開催です。春休み期間となっていますので、進路選択の参考に是非お越しください。

秋田看護福祉大学

秋田看護福祉大学では、これまで4回のオープンキャンパスを実施。看護学科・福祉学科への入学を希望する高校生、保護者の方などが参加しました。

田中禮子学長による大学の紹介のほか、各学科のカリキュラムの特徴、国家試験対策の指導状況などを説明しました。また、「先輩相談」のコーナーでは、大学生が高校生たちからの質問にその場で答えました。

これまで行った模擬授業では、看護学科は「命の源に触れてみよう」と題して、参加者が血圧などを実際に測定しました。福祉学科では車椅子で介助する際に注意することを学んだほか、障害者スポーツの基礎として、車椅子に乗ってバスケットボールの試合を体験しました。

第4回オープンキャンパスでは、「推薦入試対策」「AO入試対策」「初参加者対象」の3コースを設けて目的に合わせた説明会を行うなど、特色ある内容で、高校生に大学を紹介しました。

今年度最後のオープンキャンパスは、3月21日です。この機会に是非ご参加いただき、大学の魅力を感じてください。

「かづの牛」を使って、地域の方と調理実習

移動公開講座 秋田栄養短期大学

9月18日、鹿角市山村開発センターにて、移動公開講座を行いました。この講座は栄養短大が県内各地で行っているもので、2010年からは、講演と、学生と地域の方が調理する実習を組み合わせた内容にしています。

今回使用した食材は、鹿角市の特産品、かづの牛。参加した方とコミュニケーションをとりながら、3品を作り上げ、調理実習の後は、完成した料理を参加者で試食しました。講座に参加した学生は、「脂身が少なく、赤身の部分がしっとりとしている、かづの牛の特性を生かすことを心掛けました」と話してくれました。

※秋田栄養短期大学では、県内の特産品に焦点を当てた「秋田県特産品マップ」を作成しています。これまで取り上げた食材やレシピは下記から閲覧することができます。

【秋田県特産品マップ（秋田栄養短期大学ホームページ内）】
http://www.akita-eiyo.ac.jp/nutrition/report.html

⚽ 高校生と園児がサッカーで交流 ⚽

8月5日、明桜高校のグラウンドで、高校の男女サッカー部、のびのび幼稚園・保育園、さくら幼稚園による、サッカー教室を行いました。

夏らしい日差しが降り注ぐ中、園児たちは帽子をかぶり、こまめに水分を補給しながらの教室となりました。

準備体操をして体を慣らした後、追いかけっこを行い、園児たちは楽しそうにグラウンドを走っていました。その後は、ボールをジグザグに転がすドリブル。高校生が園児に優しく教えたり、ハイタッチをしている姿が見られました。

ボールに慣れた頃、園児たちが試合に挑戦。一生懸命ボールを追いかけて上手にゴールを決めた園児もいました。

サッカーを通した交流で、高校生と園児は、すっかり仲良くなった様子。各幼稚園では、定期的にサッカー教室を行い、楽しく体を動かしています。

元気いっぱいの運動会 のびのび幼稚園

9月21日、のびのび幼稚園・保育園で運動会を行いました。この日は、太陽が出たり、雨がふったりと、めまぐるしく変わる天気。

雨のため、最初の種目、ころころ組・とことこ組の親子競技は遊戯室で行いました。その後、子どもたちの願いが通じて、太陽が顔をのぞかせました。途中で雨がふったりもしましたが、各種目で元気いっぱい体を動かしました。一生懸命に練習したマーチング、組体操も、広い園庭で、おうちの人へ見せることができましたよ。最後は、みんなでリボンが出てくるボールを投げて、フィナーレをむかえました。

みんなで稲刈り さくら幼稚園

10月3日、空気がすんで、ぽかぽかあたたかい、秋らしいお天気の中で、さくら幼稚園の園児が、稲刈りをしました。

園のバスで向かう途中、キラキラ黄金色にかがやく田んぼが見えると、みんな大はしゃぎです。田んぼに入ると、先生たちが、稲刈りのお手本を見せてくれました。かまを持つのがはじめてでこわがった子どもたちもいましたが、先生から教えてもらい上手に稲刈りができました。いつも食べているお米は、黄金色の稲穂からとれるのですね。

これからお米を食べるときは、つくっている方に、ありがとうって感謝しながら食べましょうね。

韓国で、お客様をおもてなし　ノースアジアツーリスト

観光学科の模擬旅行会社ノースアジアツーリスト（NAT）は、9月12日から4泊5日の日程で韓国研修旅行を行いました。NATは、これまでに4回の海外研修旅行を企画・実施してきました。

今年は、韓国の昔ながらの家「韓屋（ハノッ）」に泊まる二都巡りの旅を企画。韓国の慶熙（キョンヒ）大学校で留学した経験がある熊谷芽久学生社長（観光学科3年）のもと、出発の準備を進めてきました。

旅行出発前、韓国の観光事情などを勉強。この旅行の成功に向けて、学生たちは真剣な表情で授業に臨みました。そのほか、旅行の参加者を対象とした説明会も実施。学生社員が日程や宿泊先について説明し、「肌寒い気候ですので、羽織るものを用意してください」など、具体的なアドバイスをしました。

9月12日、韓国に向けて出発しました。研修旅行期間中は、大学と協定を結んでいる培材（ペジェ）大学校との観光学術交流会も行いました。現地での添乗は全て学生社員が担当し、おもてなしの心を大切にして業務にあたりました。

9月16日、最終日。予定よりも少し早めの時刻に、全員無事に帰国することができました。

お客様をお見送りした後のミーティングでは、学生社員たちから反省の言葉が出ていました。今回の内容に改善を加え、次回の旅行では、お客様がより満足できるような旅行にしたい、と、学生社員一同気持ちを新たにしていました。

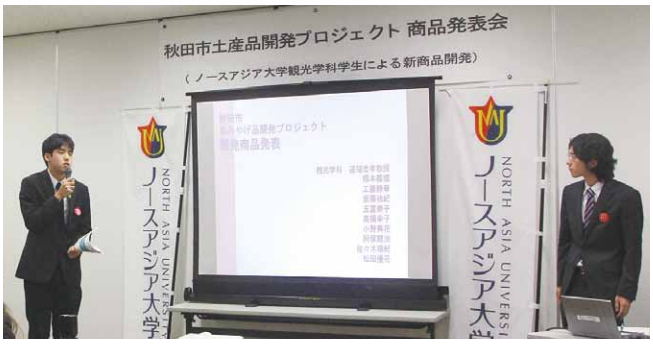
異文化に触れ、国際的な感覚を身につける　高校修学旅行

明桜高校は2010年から韓国への修学旅行を実施しています。この年、慶熙大学校付設慶熙高校との間で姉妹校提携を調印。修学旅行では、同校を訪問し、教員・生徒との交流を深めています。

今年度も9月9日に最初の班が同校を訪れて交流を行ったほか、世界文化遺産の昌徳宮、南大門、仁寺洞通りなどの名所の見学や1997年の初演から人気のキッチンを舞台にした「NANTA」、伝統芸術舞台「Miso」を観劇し現代と歴史、伝統文化を体験する4日間の旅行となりました。

参加した佐々木ねむさんは、「言葉の違いが不安でしたが、慶熙高校の生徒と会話をするときは、お互いに英語を交えてコミュニケーションをとりました。言葉が違っても、きちんと相手に思いが伝わるということが分かり、とても勉強になりました。この交流会が、一番の思い出です。これから、いろいろな人と交流することがあると思いますが、この旅行で、言葉の違いを超えてコミュニケーションがとれたことを自信にして、これから出会う人と積極的に関係を深めていきたいです」と話してくれました。

観光学科の学生と企業が「秋田市土産品」を共同開発



このほど、観光学科の学生と秋田市内の企業が共同開発した「秋田市土産品」が3品完成しました。観光学科は秋田市と観光連携協定を結んでおり、学生たちは、2012年7月から観光客を対象とした土産品の開発に取り組んできました。3品は、11月1日、報道機関向けの商品完成発表会を経て、11月2日・3日の2日間、秋田駅の新幹線改札口付近で販売会を行いました。

『山のぶどう さなづらパイ』

秋田市の老舗菓子店、株式会社榮太楼との開発で「さなづら」の美味しさを若い人にも知ってもらえるように、パイ生地に秋田を代表する銘菓の「さなづら」を挟みました。

『マカロンこまち』

市内の洋菓子店、ドゥ・フィーユとの開発で、米粉を使い、秋田美人を連想させる白いマカロンに仕立て上げ、枝豆やトマトなど秋田市産の食材を使ったペーストを挟んでいます。

『チョコタンポ』

株式会社フルゥールと開発。きりたんぽをイメージし、米粉入りのクッキーにホワイトチョコをかけ、ドン菓子（お米のお菓子）をまぶしました。

この販売会は、開発に関わった観光学科の学生と企業の方が担当。三連休ということもあり、多くの方が学生の呼びかけに応じ、商品を手に取って、購入していました。

学生たちは、商品の開発だけではなく、購入した方と触れあい、ホスピタリティの大切さ、土産品が観光の面で重要な役割を果たしていることを再認識していました。

明桜高校から10人目のプロ野球選手誕生へ

10月24日、プロ野球の新人選手選択会議（ドラフト会議）が東京都内のホテルで行われ、砂田毅樹さん(明桜高校3年)が横浜DeNAベイスターズ（本拠地：神奈川県横浜市）から育成枠1位で指名を受けました。

砂田さんは北海道札幌市の出身で、1年生の春からベンチ入りし、高校硬式野球部の主戦投手として活躍。早い時期から好投手としてプロ野球関係者が注目していました。甲子園出場の夢は達成できなかったものの、小学校時代からのもう一つの目標、「プロ野球選手」になるため、『プロ野球志望届』受け付け開始初日の8月23日に、プロ志望届を提出しました。

ドラフト会議で指名された後の会見の席で砂田さんは「指名されて、ほっとしました。育成枠なので登録されることが目標。向上心を大切にしたいです」と抱負を語りました。

平成26年1月31日 編集・発行 理事長総室 〒010-8515 秋田市下北手桜守沢46-1 Tel. 018-836-6527 Fax. 018-836-3321 URL. http://www.northasia.jp/